

館の運営方針	臼井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。
ジャンルの目標	
市民のまちづくりへの参画や、市民の活力が期待されているなか、公民館の果たすべき人材育成や団体育成等の社会教育機能は今後も充実させていく必要があり、各種団体の自主性を尊重しつつ、団体の自主活動への支援、活動推進を目指す。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	臼井地区子ども会育成会連絡協議会	少子化にともない子ども会の減少が進むにつれ、子ども会活動への支援の重要性が増していくなか、子ども会活動を支援を通して間接的に子ども達の健全育成に寄与していく。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	B A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i: 途中で変更した。 ii: そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i: 別の方向に進めた。 ii: そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	企画の内容について前年度を踏襲するものもあったが、今年度新たに考え出した企画もあり、育成者(子ども会役員)が趣向をこらしたなかで事業を実施し、結果としておおむね満足できるものであった。
改善	次年度への課題と展望策	B A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ()

総合評価				
A	事業規模 A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。			
	<table border="1"> <tr> <td>成果</td> <td>参加者から聞き取りした感想や参加している様子から、おおむね満足していると見受けられる。他の学年の子どもとの交流はもちろん、他の単位子ども会や他の学校児童との交流が持てることは大変貴重な経験である。</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td>単位子ども会の解散(消滅)などの理由により、臼井地区子ども会育成会連絡協議会に加入している子ども会団体数が年々減少している。</td> </tr> </table>	成果	参加者から聞き取りした感想や参加している様子から、おおむね満足していると見受けられる。他の学年の子どもとの交流はもちろん、他の単位子ども会や他の学校児童との交流が持てることは大変貴重な経験である。	課題
成果	参加者から聞き取りした感想や参加している様子から、おおむね満足していると見受けられる。他の学年の子どもとの交流はもちろん、他の単位子ども会や他の学校児童との交流が持てることは大変貴重な経験である。			
課題	単位子ども会の解散(消滅)などの理由により、臼井地区子ども会育成会連絡協議会に加入している子ども会団体数が年々減少している。			

ジャンル	団体育成
事例発表の事業	臼井地区子ども会育成会連絡協議会

★公民館運営審議委員意見

総合評価	委員①	<p>★ジャンルについて 公民館の支援があることで、市民の各種団体の活動がしやすくなり、公民館を利用する団体にとって、欠かせないジャンルと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 公民館の支援があることで、地区の子ども会の活動が維持されていき、地域の青少年育成をする団体にとって、欠かせない事業になっていると思います。</p>
	A	

総合評価	委員②	<p>★ジャンルについて 子ども会育成は、子ども会が減っていく中で支援は必要である。</p> <p>★事例発表の事業について 単位子ども会の統合も一つの方法ではないか。</p>
	B	

総合評価	委員③	<p>★ジャンルについて 職員数が少ない中、大変かと思いますが、音楽ホールをいかした事業などの工夫をしていただけるとありがたいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 子ども会が減少する中、大変かと思いますが、自治会と協力して育成をしていただければと思います。</p>
	A	

委員④		<p>★ジャンルについて 団体育成の事業はとても大変だと感じました。</p> <p>★事例発表の事業について 今後も「つなぐ」役割を頑張ってください。</p>
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて 今まで他が手をつけなかった子ども会に視点を当てたのは良いと思う。</p> <p>★事例発表の事業について 子ども会加入者の減少は年々増加しており、手立てがない状況にある。公民館が協力することにより、PR力が上がり、加入者の増加に繋がると思われる。是非継続を。</p>
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて 団体育成ということでは市民音楽ホール活動としての事業もあると思いますが、対象はあくまでも臼井公民館のジャンル事業となり、掲げられているのは臼井地区子ども会育成連絡協議会となっています。</p> <p>今の子ども達は、学習塾やスポーツ活動、習い事など、とても忙しい状態です。保護者も、仕事や子育てに忙しく、自由時間も余裕もなくなっています。子どもは、子ども会活動には参加できにくいし、保護者は活動には参加したくないという意向が強くなっています。さらに少子化により、ご近所に子どもがいません。結果、保護者も子ども、子ども会とはますます縁遠くなってしまっています。</p> <p>子どもが孤立しつつある今こそ、子ども会の果たす役割はその大きさが増しているとも思います。</p> <p>児童青少年課、子育て支援課、社会教育課、文化課等と連携を図りながら、子ども会活動の支援をぜひ図っていただきたいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 異年齢交流が図られる大切な教育の場でもある子ども会は、解散や地区子連に属さずに町内会等の単位での活動となるなど、その運営は極めて厳しい状況にあります。また、町内会単位等での子ども会活動が活発になればなるほど子どもも保護者も忙しくなり、地区子連、市子連事業への参画がさらに重荷になってくるという側面もあるのかも知れません。臼井地区子連の加盟団体数も減少傾向にあります。</p> <p>しかし、子連の活動を通じて得られる、他の子ども会、他の学校児童との交流は、子どもの心の成長を図る上で大きな力となっていると思います。臼井ふるさとにぎわい祭りへの模擬店(くじ引き)参加、佐倉市子ども会中央交流フェスティバルでのブース(まつぼっくりリースをつくろう)運営など、準備は大変だったとは思いますが、これらの活動を通して子ども達が得たであろう達成感やその過程で育まれたと思われる協調性は、とても大きな意味を持つものであったと思います。</p> <p>3月末には事務局として支援する臼井地区子連加盟単位子ども会会員小学6年生を対象とした日帰り卒業旅行(東京ジョイポリス)が計画されています。関係所属と連携を図りながら臼井地区子ども会活動支援を継続されるよう期待しています。</p>
総合評価	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて 地域で活動する団体にとって、公民館の役割は無くてはならないものです。他の活動団体や、地域の人材との連携・調整等していただき、幅広い視野で活動が継続できるよう支援いただきたいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 少子化・子どもが習い事や塾等で多忙・保護者の共働き等で子ども会の維持が困難になってきているとのこと。代々継続されてきている会がこれからも活動できるよう協力支援をお願いします。</p>
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて 少子化に伴う会の減少傾向の中、子ども会活動への支援は重要性を増していく中、支援を通じて間接的に子ども達の健全育成に寄与されており、今後も継続を希望します。</p> <p>★事例発表の事業について 少子化に伴い、単位子ども会の解散(消滅)等の理由により子ども会育成会連絡協議会に加入する団体が年々減少している現況を鑑み、子ども会活動への支援の重要性が考えられます。よって、子ども達の健全育成への寄与が図られるため継続を望みます。</p>
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて 団体育成の中でも特に「子ども会」の育成は、少子化の問題とともに無くなってしまいかもしれないという難問である。そのような現状の中、大きい事業を2つ継続していることを評価したい。</p> <p>★事例発表の事業について 自身も子ども会に関わってきた中で、地域で子育てすることの重要性を感じてきた。他の地域の方と大きなイベントで交流できたことも、親子共々良い経験となり、公民館職員の方のお力添えには感謝している。小さい規模の子ども会には、役員の免除や近くの別の地域の会へのお誘い等々、考えていただきたい。</p>
総合評価	A	

委員⑩		<p>★ジャンルについて 臼井地区に限らず、子どもの減少と共に地区子連に加入している子どもが少なくなっている中で、相談・研修・情報交換などを実施して、地区子連を支えて行くことは重要なことと考えます。</p> <p>★事例発表の事業について 「子ども会育成会連絡協議会」は、臼井地区の子ども会をまとめるために、年間を通した事業計画を実施されており、にぎわい祭りの模擬店参加や、市子連中央交流フェスティバルへの参加は、子ども会にとって大きな魅力となっている。子ども会を支援することで、子ども会の減少を食い止め、未加入子ども会への加入促進の情報発信になると思いますので継続して下さい。</p>
総合評価	A	

委員⑪		<p>★ジャンルについて 臼井地区子ども会育成会連絡協議会では、参加する単位子ども会の解散や消滅で年々減少している。佐倉市子ども育成連盟、地区子連、町内自治会、小学校、中学校、公民館等の社学共同事業として、他の子ども会との交流の出来る昔ながらの子ども会を活性化して欲しいと思う。</p> <p>★事例発表の事業について 小学校や町内会館内に学童保育制度が実施されるようになって来ましたが、一方で、町内にある公園等が閑散としているのは寂しい限りです。子ども達が安全で自由に遊べるように公園施設の充実と規制の見直し(ボール投げの禁止等)を市や地区自治会と協議して児童達の賑わいを取り戻したい。</p>
総合評価	A	

委員⑫		<p>★ジャンルについて 公民館によって関わっている育成団体の数にかなりの開きがあることを知って驚いた。</p> <p>★事例発表の事業について 子ども達が話し合いに加わったり、スタッフとして活動しているのがよかった。(プールの準備活動などよく伝わってきた。) ※ 発表の最初に子ども会や、育成連盟の組織図を示して教えて貰えたのはありがたかった。</p>
総合評価	A	

委員⑬		<p>★ジャンルについて 子ども会の開催は大いに継続して載きたい。活動を通じて、友達づくりを通じて、友達づくりを前提として交流を深めてほしい。</p> <p>★事例発表の事業について サマーコンサート、手づくり御輿等大いに継続して頂き度い。 子ども会の減少により会への参加が少ないとの事ですが、各地域の祭り、餅つき大会、新年会等で参加の子ども達のグループ作りに関係者・親達が協力する必要大だと思われまます。</p>
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて 少子化の影響による、育成団体の減少は、やはり他の地区との連携によってカバーしていくしかないのではないか。</p> <p>★事例発表の事業について 子ども会育成会連絡協議会に加盟する子ども会の減少は、少子化が進むにつれて避けられないことだが、それを踏まえて他の地区ともタイアップして、学校教育を補完するような積極的な活動ができればよいと思う。</p>
総合評価	A	

委員⑮		<p>★ジャンルについて 少子化のなか、子ども会の育成は将来に渡って課題であり、避けて通れない事業の一つである。公民館が取り組んでいるからこそ継続されていると言える。 他の子ども会や他の学校児童と交流したことは大きな評価である。</p> <p>★事例発表の事業について 中央交流フェスティバルの内容が良く伝わった。「1年生の歓迎会」、「6年生を送る会」は、子ども達の思い出に残る取り組みである。パスハイクは、計画・実施等と関係者は大変であるが今後とも続けて頂きたい。</p>
総合評価	A	